

- ◎11月中旬に鋳鉄の干支置物発売 2面
- ◎市産品フェアで鋳物製品をPR 3面
- ◎組合員4社14人が永年勤続表彰 3面
- ◎鋳金研が市産品フェアに初出展 4面
- ◎鋳鉄鋳物8月生産前年比17%増 4面

# KAWAGUCHI FOUNDRY NEWS

## 川口鋳物ニュース

編集兼発行人 総務委員会  
 発行所  
 川口市元郷2-1-3  
 川口鋳物工業協同組合  
 電話(川口)048(224)6200番(代表)  
 F A X 048-224-1536番  
 ◎ホームページ・メールアドレス  
<http://www.kawaguchi-imo.jp>  
[kumiai@kawaguchi-imo.jp](mailto:kumiai@kawaguchi-imo.jp)

### 受賞工場・製作者名

FC部門 (敬称略)		
受賞内容	事業所・工場名	製作者名
1 埼玉県知事賞	不二工業(株)	笹川 真
2 川口鋳物工業協同組合 理事長賞	(株)マスセイ	田中 雅彦
3 川口市長賞	前澤工業(株)	田中 圭太
4 一般社団法人日本鋳造協会 会長賞	(株)椿本精工	鳥居 弘幸
5 一般財団法人素材材センター 会長賞	(株)大六鋳造	野上 直一

FCD部門 (敬称略)		
受賞内容	事業所・工場名	製作者名
1 埼玉県知事賞	永井機械鋳造(株)	イミヤミヤチヨウ
2 川口鋳物工業協同組合 理事長賞	東洋鋳工(株)	松尾 友生
3 川口市長賞	(株)永瀬留十郎工場	大谷 充
4 川口商工会議所会頭賞	(株)大西鋳工所	大西 達子
5 埼玉鋳物技能士会 会長賞	(株)マスセイ	渡辺 承樹

# 「鋳物資料館」実現へ



手前の空き地がB街区。道路を挟んで奥の空き地がC街区で、鋳物資料館などが建設される

## SKIPC街区に 組合建設検討委の活動再会

川口鋳物工業協同組合で長年の懸案だった「鋳物資料館」(仮称)の建設構想が動き出す。川口市上青木のSKIPC街区(さいたま新産業拠点)の未利用地のうち「C街区」に、2025年度に他の産業支援施設などとともに建設される見通しだ。このため組合では、20年以上にわたり休眠状態になっていた「川口鋳物資料館建設検討委員会」の活動を近く再開させる。

「鋳物のまち・川口」に鋳物資料館は必要」という議論は組合内で古くから交わられていた。少なくとも3代前の田中博理事長の時代(1981年〜96年)にまで遡る。「早く手を打たないと、川口の発展に密接に関わった鋳物の歴史を伝承する資料がなくなっていく」との危機感があった。この構想が具体化する動きがあったのは、次の見玉洋介理事長の時代。97年秋の理事会で「鋳物を実際に製造でき、体験学習のできる資料館」の建設を求める

声が上がった。これを受けて、98年6月に「川口鋳物資料館建設検討委員会」が発足した。組合の総務・業務委員会といった常設委員会とは別の特別委員会だ。委員会では、他県の鋳物産業の歴史を紹介する資料館や博物館の動向を調査。同7月に理事・監事で構成する「協栄会」と鋳造部長が合同で、当時の水沢市伝統産業会館(現・奥州市

伝統産業会館)を訪問した。しかし、バブル経済崩壊後の景気低迷に加え、円高や取引先の海外移転、電気料金の高騰、人手不足などで、中小鋳造業を取り巻く経営環境はその後さらに悪化。鋳物資料館の構想は、用地や建設費、運営方法などの議論が深まらないまま棚上げとなった。

今回、新たに検討作業が始まるのは、SKIPC街区の未利用地の整備で進展があったためだ。具体的に「B街区」約3万3千平方メートル、東側の約2万2千平方メートル、NHKが所

有する「C街区」約2万4千平方メートルを、22年度に等価交換することが決まった。NHKは25年度までにB街区に地上4階・地下1階建ての放送施設を建設し、26年度に運用を開始する予定。B街区は、埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)や川口市立科学館、NHKアーカイブスなどが立地する「A街区」の北側に隣接する更地。当初から最先端の映像技術を導入した放送施設の誘致が検討されていた。NHKの大型スタジオの建設が決まったことで、残りの未利用地についても活用に向けた検討作業が動き出した。

川口市はB街区の西側に残る土地を県から取得。B街区の北側に道路を挟んで隣接するC街区とともに、整備を進める。両地区ともNHKの施設と同時期の26年度の運用開始を想定して年度の運用開始を想定している。

現在「上青木スポーツ広場」として活用されているC街区には、産業支援施設や飲食・物販店などが整備される。C街区の施設の具体的な内容はこれから検討されるが、鋳物資料館は地場産業全般を紹介する資料館の一角に整備される見通し。鋳物資料館では、川口

## 鋳造技術コンクール

### 第57回 県知事賞

#### FC 不二工業

#### FCD 永井機械鋳造

埼玉県と川口鋳物工業協同組合が主催する「第57回埼玉県鋳造技術コンクール」の審査結果がまとまった。FC(ねずみ鋳鉄)部門では不二工業(株)、FCD(球状鉛鋳鉄)部門では永井機械鋳造(株)がそれぞれ、最優秀賞に当たる「埼玉県知事賞」に決まった。不二工業がFC部門の頂点に立つのは2010年の第46回以来11年ぶり5回目。また、永井機械鋳造がFCD部門で県知事賞に輝くのは12年の第48回以来9年ぶり2回目となる。(受賞工場と製作者は上の表を参照。2面に歴代トップ事業所の表)

### ミヤンマー女性快挙

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大で中止となったため、コンクールは2年ぶりの開催。今回、FC部門には8事業所が計9点、FCD部門には15事業所が計15点(それぞれ出品し、幅が広がった)に対し、FC部門では前回の14事業所14点(桑名の2社2点を含まず)から増えた。

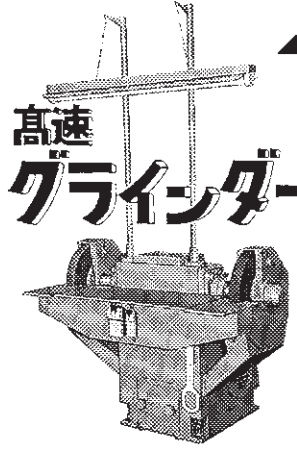
今回の製作者では、少数ながら外国人や女性の活躍が目撃された。FCD部門を制した永井機械鋳造のイ・ミヤツ・ミヤツ・チョウさんは、ミヤンマーの国立大学を卒業後、CAD(コンピュータ)支援設計技術を持つ高度人材として来日。(株)永井機械製作所を経て、2月に永井機械鋳造に入社した。3次元CADで鋳物製品の設計や凝

固解析のシミュレーションができる技術が生きた。外国人の県知事賞は第46回のFCD部門以来11年ぶり2回目。FCD部門では初めて、また、女性の県知事賞は第54回のFC部門以来3年ぶり2回目。FCD部門ではこれも初の快挙となる。

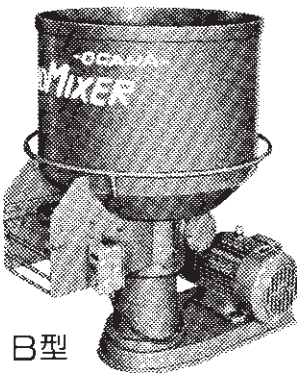
女性ではこのほか、FCD部門4位の「川口商工会議所会頭賞」に(株)大西鋳工所の大西達子さんが決まった。同社は、達子さんの夫の大西義一社長が1999年のFCD部門で県知事賞に輝くなど、実績を残したが、コンクールへの参加は久々。達子さんの生家も鋳物工場で「鋳物屋」出身の夫婦が揃って入賞を経験できるのはかなり珍しいケースといえる。

なお、講評会と表彰式は新型コロナウイルス感染対策のため中止となった。事業所・製作者への表彰状や記念品などは郵送。入賞者の作品はSAITEC3階に展示する。

■工数削減と人財確保に……即、偉力を発揮します。

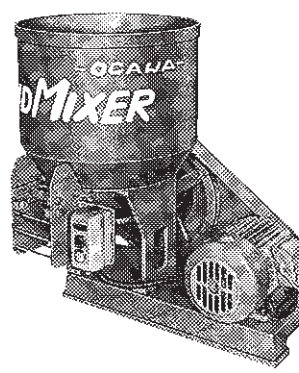


高速  
グラインダー



自硬性中子砂  
MIXER

〈 特 長 〉  
 ●工 数 激 減  
 ●取 扱 容 易  
 ●機 構 堅 牢



新設・メンテナンス  
のご用命は

鋳機、鋳材店へ

オガワの サンドミキサー製造元  
高速グラインダー製造元

小川金属株式会社  
本社/埼玉県川口市本町4-9-15  
TEL 048-222-2903(代)  
FAX 048-223-2117